

合格体験記

太田守彦

2021年中小企業診断士2次筆記試験に合格した太田守彦、51歳の会社員です。

3回目の2次筆記試験で合格となりました。令和3年は1次試験からの再出発となり、2次筆記試験に臨みました。

令和4年に2次筆記試験を受験予定の皆さんを対象に、私が令和3年に行ったことを記載させていただきます。個人的な感想なのですが、少しでもお役に立てれば幸いです。

【背景】

MMCは令和2年（通期+オプション講座）と令和3年（後期+オプション講座+模擬試験）受講させて頂いたのですが、令和2年で合格できなかった理由は、40%の合格率を誇る予備校のカリキュラムを受講するだけで、合格できると思ってしまい、十分な復習をしていなかったからです。型やキーワードは覚えましたが、このような設問の場合はこのように記載するという模範解答は覚えていたのですが、書く事はしていませんでした。また、時間に余裕があると、作問者の執筆論文や本を取り寄せて、キーワードを探して答練や模試で引用したりしていました。

上記のようなことから、令和3年は以下の対応を行いました。

【先ず、自身の弱点と把握して、その対策として、MMCを活用しました】

本試験やMMCの答練、模試の結果から、60点未満の設問に記載されている先生のコメントを確認し、60点未満の理由を明確にする。私の場合は、以下5つです。

【次に、対策として以下を意識して復習する】

弱点	対策
① 設問を読んで、MMCの型、キーワードを正しく活用できなかった。一般的な知識のみを記述し、与件文の文言を引用出来ていなかった。	毎日、答練1問を復習し、型やキーワードを意識して記述しました。（例の提示） 一般的な知識に加えて、与件文の文言を入れて記述しました。
② 令和2年度2次試験の事例Ⅱや事例Ⅳでは一次試験の知識を直接問う設問があった（アンゾフ、のれん）が、私は知識が定着しておらず、頭が真っ白になり、答えられなかった。	一次試験の知識を問う問題でも記述できるように、MMCの基本知識確認テストを復習しました。また、企業経営理論で頻出される文言をまとめていました。（例の提示+ノート）

<p>③ 誰が読んでも理解できる文章でなかった。</p>	<p>誰が読んでも理解できる文章にするために、記述した解答文を妻に読んでもらっていました。（毎回は避けられました。）</p>
<p>④ 事例IVは、苦手でCVP、CF、NPV等の頻出論点で計算ミスが多く点が取れなかった。手順が自分の中で確立されていなかった。苦手意識があるばかり、初見の問題で冷静に設問を読み取れず進める事ができなかった。</p>	<p>GW集中ゼミの財務ファイナンスゼミ、財務アカウンティングゼミ（令和4年は2月末に前倒し）の問題編を毎日1問、答練を毎日1題、タイマーをセットして解きました。ミスがあれば、何故ミスしたかを記載し、どうやってミスを防ぐかをノートに記載して振り返っていました。同じミスを繰り返してしまうので、事例を解く前には、ミスノートを見てから始めました。CVP、CF、NPVで項目毎に答練問題を解きました。</p>
<p>⑤ 令和2年は復習はあまりしていませんでしたので、時間に余裕が出来て、作問者の執筆論文や本を読んで、もっと良いキーワードや言い回しを使おうとした。</p>	<p>左記のようなことは一切せず。MMCの型を信じて記載することに専念しました。</p>

【MMCを受講して良かったこと】

1. 解答の型の使い方、解答時手順の手元の動きを講師から見せていただいた事

解答の型については、設問を読んで、例えば【オペレーション】B社は、①~のため、○○、②~のため、○○、③~のため、○○等で~を図る。という型をつくり、与件文から型にあたる文を探するという流れのお手本を見せていただき、自身が使用できるように何度も練習したため、2次試験本番でも怖く無かった。事例IVでも、各講師の素早い作業手順や手元の動きはとても参考になりました。計算機のメモリーキー「M+」「M-」「MR」の修得もできました。加えて、計算ミスが減少し、適切な時間配分も可能となりました。

2. 答練後のアフターケア

答練の採点メッセージは納得できます。筋が通っているため、復習に訳立ちました。先生方は皆さんMMC出身ですので、指導内容やコメントは同じで、信頼できました。

3. 受講生の心のアフターケア

令和2年に2次試験不合格時は、次は再度1次試験からという事や模試後のフィードバックの時や日頃のコミュニケーションでは、点数が伸びない時に落ち込んでいても、先生方より私の性格にあった言葉をかけていただき、前を向いて勉強に打ち込む事ができました。

また、直前スパーリング2日目にいただける、「明日のために」は直前期に自分の気持ちを平常心に戻すのに有効でした。試験当日も試験開始前、休憩時間中に読みました。

このようなアフターケアができるのはMMCが少人数制であるからだと思います。

【22年MMCを受講される皆さんへ】

MMCは2次試験に特化した実績のある予備校です。私はMMCに2年間お世話になりましたが、令和2年は、実績のあるMMCに通いスケジュール通り答練や模試を繰り返していけば、合格すると思っていましたが、それは大きな間違いでした。

令和3年は1次試験の再挑戦もありましたので、財務のオプション講座と模試、Step5、スパーリングの受講のみでしたが、1年目と2年目の答練や模試を活用して、前述の①から⑤を意識して復習を繰り返しました。繰り返し行って、MMCの「解答の型」を自分のものにする事を心がけました。継続する事は目新しい事はなく、退屈を感じる事もあったのですが、先生方のご指導や心のケアのお陰で継続できたと思います。

他の予備校や教材、SNS等に目を向けず、MMCを信じて、正しい方法で復習を継続することをすれば、合格できると確信しています。

実際、令和3年の事例Ⅰの第4問、事例Ⅲの第2問はどうやって解けばいいの？MMCで習ってない。と不安になりましたが、MMCの型やキーワードに当てはめて解答しました。

事例Ⅳも、第1問の経営分析→第4問→第3問→第2問 といつものように解き、絶対落としてはいけない、第1問や第3問の1) 2)の見直しに時間をかけました。よって、第2問は全滅でしたが、空欄は避けました。

また、私は可能な限り、教室で受講しました。理由は、試験は会場を受験しますから場慣れするためでした。また、一番前の席に座りました。理由は、緊張感持って受講したかったためでした。講義中に先生方より質問を受ける機会が多く、的外れな発言も連発していましたが、それも自分の反省点となり学習できたと思います。

【先生方へお礼】

私の心のケアや勉強方法のアドバイスと声をかけていただいた徳川先生、事例Ⅳの最近の傾向を読んだ作問とわかりやすい解説の伊藤先生、受講生一人一人に細やかな心配りや熱のある事例解説、試験当日は期待しない事を教えていただいた中居先生、事例Ⅱの採点基準や採点者の傾向を明快に伝えていただいた中矢先生、本番ならではの与件文や作問と事例Ⅲでの解き方を教えていただいた勝山先生、手元を撮影した解答手順の丁寧な解説をしていただいた長谷先生、休憩中に声をかけていただき、端的な言葉で指導いただいた西先生、50代の受講生にもご配慮と熱い指導を頂き、本当にありがとうございました。

以上